



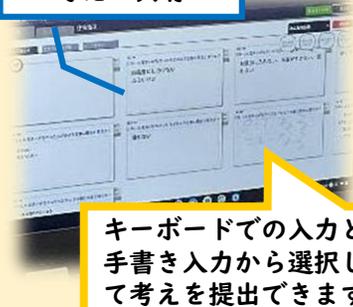
伊勢崎市立第二中学校

2年家庭科 授業レポート

単元名：家族みんなが安全で快適な住まいにしよう

ねらい：住まいの役割や生活行為による住空間の分類を考えることをとおして、家族の生活と住空間の関わりについて理解できる。

1 本時の課題をつかむ

ムーブノート
考えの共有

キーボードでの入力と
手書き入力から選択し
て考えを提出できます

住まいがなかったら困ることについて、自分の考えをムーブノートに入力しました。ICT端末で各自の考えがクラスで共有され、多様な考えに気付くことができました。

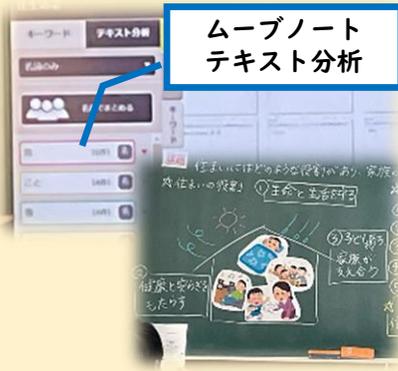
また、共有された考えを基に、本時の課題をつかみました。

4 家族構成と間取りを基に
部屋の割り振りを考えるムーブノート
スタンプ

同じ家族構成、同じ間取り
でもいろいろな割り振
りが考えられるな。

ムーブノートに例示された家族（父43才、母42才、陽菜さん13才、妹8才の4人構成）と間取り図を基に、年齢や生活行為を踏まえながら部屋の割り振りを考えました。スタンプ機能を活用して部屋の割り振りを示し共有することで、様々な割り振りができることに気付きました。

2 住まいの役割を考える

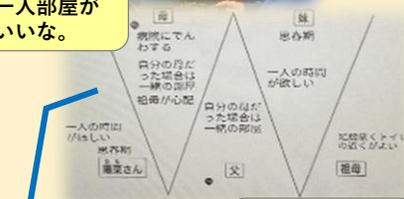
ムーブノート
テキスト分析

ムーブノートに入力した内容についてテキスト分析機能を活用し、入力された内容を基に住まいが果たしている役割を考えました。

「生命と生活を守る」「健康と安らぎをもたらす」「子どもが育ち家族が支え合う」の、3つの役割にまとめることができました。

5 5年後の変化に伴い家族
一人一人の希望を出し合う

受験生は
一人部屋が
いいな。

Jamboard
Wチャート

5年後、祖母の同居や陽菜さんが受験生であることなどの家族の変化に伴い、部屋の割り振りについて考えるためにJamboardに示したWチャートを活用して、家族一人一人の希望を出し合いました。

3 生活行為と住空間の
関わりをまとめるムーブノート
教材の提示

ムーブノートに家の間取り図を示し、家庭での経験を基にそれぞれの部屋等における生活行為を振り返りました。

また、生活行為を振り返りながら住空間の活用方法について意見を出し、生活行為と住空間の関わりをまとめました。

6 家族みんなが心地よく
過ごせる割り振りを考えるJamboard
デジタル付箋

間取り図にデジタル付箋で割り振りを示すことで対話が促され、家族みんなが心地よく過ごせるように調整しながら、部屋の割り振りを考えました。

家族構成や各自の希望によって住空間の変化が必要であることに気付くことができました。